

鹿児島大学農学部は
2024年4月に
生まれ変わりました

FACULTY OF



AGRICULTURE
KAGOSHIMA UNIVERSITY



国立大学法人
鹿児島大学 農学部
FACULTY OF AGRICULTURE KAGOSHIMA UNIVERSITY





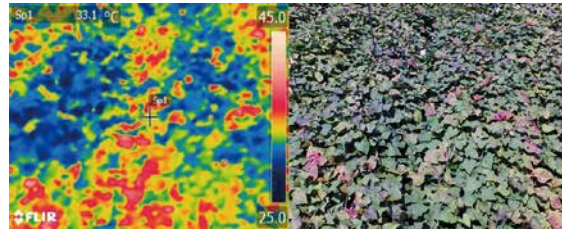
植物資源科学プログラム

主な
学びの
分野

植物育種学、土壌生態制御学、熱帯作物学、比較環境農学、
果樹園芸学、土壌・植物微生物学、植物生命工学、
環境情報システム学、観賞園芸学、作物学、
植物栄養・肥料学、植物病理学、植物栽培・機能学、
熱帯果樹園芸学、農業環境システム学、園芸作物生産学

先進技術による植物資源の生産と活用を 実現する

植物を資源とする農産物の生産・開発に関する分野について教育・研究します。
温帯から亜熱帯にまたがる鹿児島県の地域的特性を活かし、九州・南西諸島地域の
農業の現場をフィールドとして、新しい植物資源生産技術と植物資源を活用した
新たな農産物の創出に貢献できる人材を育成します。



主な授業科目

- | | | | |
|------------|------------|-----------|-----------|
| ● 遺伝学 | ● 応用植物科学概論 | ● 栽培技術論 | ● 観賞園芸学 |
| ● 植物栄養・肥料学 | ● 果樹園芸学 | ● 蔬菜園芸学 | ● 土壌科学 |
| ● 植物病理学 | ● 熱帯作物学 | ● 植物育種学 | ● 植物遺伝資源学 |
| ● 比較環境農学 | ● 食環境微生物学 | ● 食料安全生産論 | ● 農場実習 |
| ● 作物学 | ● 農業機械学 | ● 耕地生態学 | ● 農業気象環境学 |



環境共生科学プログラム

主な
学びの
分野

農林業DX、木材工学、害虫学、育林学、森林計画学、
森林保護学、砂防・森林水文学、利水工学、
地盤環境工学、植物間コミュニケーション、動物繁殖学、
動物行動学、森林政策学、森林保護学、農地環境保全学、
森林利用学、木質組織学

生物多様性の保全と農林産物の生産 活動が調和した持続的発展を実現する

環境の保全や農林産物資源の生産に関する分野について教育・研究します。
グローバルかつ地域的視点をもって自然資本を理解し、生物多様性の保全に関
する諸問題の解決に取り組み、持続的かつ安定的な農林業生産活動に貢献する人
材を育成するプログラムします。



主な授業科目

- | | | | |
|-----------|----------------|-------------|-----------|
| ● 環境共生農学 | ● 土壌科学 | ● 環境フィールド演習 | ● 農業気象環境学 |
| ● 基礎統計学 | ● 応用数学 | ● 農地保全学 | ● 景観デザイン学 |
| ● バイオマス工学 | ● 農林産物サプライチェーン | ● 水土実験 | ● 害虫学 |
| ● 応用動物行動学 | ● 森林動物学 | ● 森林経済学 | ● 森林保護学 |
| ● 森林微生物学 | ● 木質工学 | ● 育林学 | |



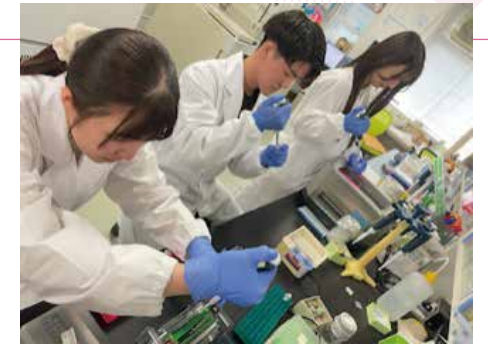
食品生命科学プログラム

主な
学びの
分野

応用微生物学、応用糖質化学、食品分子機能学、
焼酎製造学、醸造微生物学、先端健康科学、
生命高分子化学、生分子機能学、食品化学

生物資源を分子・細胞・生体レベル で解析し食の発展と人の健康に貢献する

食品に関する幅広い分野について教育・研究します。
生物資源を分子から細胞、生体までのマルチスケールで捉え、先進のバイオテクノロジー
を駆使して食品素材の新機能探索や評価、焼酎製造や発酵を担う微生物の育種や機能を解
明することによって健康で豊かな食生活基盤を支えるための人材を育成します。



主な授業科目

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| ● 食品化学 | ● 生物化学 | ● 有機化学 | ● 代謝生化学 |
| ● 応用微生物学 | ● 酵素化学 | ● 細胞分子生物学 | ● 食品微生物学 |
| ● 植物性食品学 | ● 動物性食品学 | ● 糖質化学 | ● 焼酎製造学 |
| ● 食品衛生学 | ● 分析化学 | ● 青果保蔵学 | ● 食品機能学 |
| ● 醸造微生物学 | ● 栄養化学 | ● 焼酎製造学実験 | ● 食環境微生物学 |

農食産業・ 地域マネジメントプログラム

主な
学びの
分野

農業経営学、農業経済学、農業市場学、食品管理学、
農産食品保蔵学、食品保蔵学、フードシステム論

経営・経済学観点から農食産業と 地域の持続的発展に貢献する

農食産業の経営・経済的な分析や実践的な技術及び地域マネジメント
について教育・研究します。
農食産業の生産から加工・流通・消費までをフードシステムとして捉え、
経営・経済学的及び技術論的に理解するとともに、地域を取り巻く諸問題
の解決に貢献する実践的な人材を育成します。



主な授業科目

- | | | | |
|-------------|-----------|-----------------|------------|
| ● フードシステム入門 | ● 農産物価格理論 | ● 農業経済学入門 | ● 食料経済学 |
| ● 暖地農場実習 | ● 生物統計学 | ● 食産業・地域マネジメント論 | ● 農業経営学 |
| ● 森林経済学 | ● 農産物流通論 | ● 農産物マーケティング論 | ● 質的研究方法論 |
| ● 国際農業論 | ● 農業政策学 | ● 農村課題解決プログラム | ● 協同組合を知らう |
| ● 食品衛生学 | ● 青果保蔵学 | ● ポストハーベスト生化学 | ● 食品プロセス学 |

21世紀の国際的な食料問題に取り組む人材の養成

Question

鹿児島大学に興味を持っている受験生に対するアドバイスをお願いします。

農学部、水産学部どちらの授業も受けることができます。また、2年生後期の研究室配属では転学部も可能になっており、選択肢が多いところも特徴です。自分のやりたいことや興味のあることをじっくりと考えることができます。国内外で研究活動を行うことができる魅力の多い学科です！

牛島 菜々子

水産学部 国際食料資源学特別コース 4年
鹿児島県出身 鹿児島高等学校卒業

Question

鹿児島大学に興味を持っている受験生に対するアドバイスをお願いします。

まだ将来就きたい職種が固まっていない受験生の方にとって「職業から逆算して進学先を選ぶ」というのは非常に難しい問題だと思います。ですが、大学の講義や実習を受けるうちに漠然と「この職種なら悪くないかも」と思えるようになるはずです。国際コースは水産も農学も学べる唯一のコースです。ひとまずこのコースに入ってからゆっくり考えるのも悪くないでしょう。

関 悠人

農学部 国際食料資源学特別コース 4年
熊本県出身 熊本マリスト学園高等学校卒業

》特別コースの目的

特別コースでは、東南アジア・南太平洋・アフリカを中心とした国際社会を対象として、食料資源の持続的生産とその合理的利用の分野の専門知識を修得し豊かな世界観と倫理観を備え、グローバル化する産業社会に参画し、国際社会に貢献できる進取の精神を持った人材を育成します。

》特別コースの教育内容

- 1.国際的な食料資源問題に関する専門的な知識と豊かな教養を体系的に修得します。
- 2.国際的な食料問題に関わる人材に必要な、高い英語能力や異文化理解力を身につけます。
- 3.国際的な食料問題に関わる人材に必要な、高い社会貢献意識と豊かな思考力を育てます。
- 4.農学系学生と水産学系学生と一緒に学び、総合的、複眼的な視野を身につけます。

国際食料資源学特別コース【入学定員22人】

(農学系サブコース:12人+水産学系サブコース:10人)

国際社会における地域間の連携・協力を通じた、食料資源の持続生産と問題解決のための高度な専門知識を修得する。

■ 国際農林水産学
■ 国際食料生産学
■ 持続的農林水産資源学

■ 海外研修
■ インターンシップ
■ 海外共同研究参画
■ 外国語訓練

食料・資源問題について国際的に活躍できるグローバル人材

卒業後の進路

国際公務サービス

○国際公務員 ○国際協力事業関連組織
○JICA海外協力隊 ○食料系公務員
○食料品貿易企業 ○総合商社
○グローバル食品企業 ○外資系食品企業
○コンサルタント企業

グローバル・ビジネス

進学先

○鹿児島大学大学院農林水産学研究科 ○海外の大学院

卒業生の声

鹿児島県庁
農業開発総合センター
企画調整部研究企画課
長山 佳樹
農学部生物生産学科
平成31年度卒業
鹿児島県立
指宿高等学校出身

鹿児島でしか学ぶことのできない「農学」がここにある

今、どのような事をされていますか？

鹿児島県庁の農業専門職として、農業者の持続可能な営農活動を支援する仕事をしています。栽培技術だけでなく、経営や地域活動を支援しています。これからは、特に作物(お米やさつまいも)の専門知識をより学び、鹿児島県の農業発展にむけて尽力します。(現在は育休中で、パパを頑張っています！)

鹿児島大学を選んだよかったと思うことは？

座学では農業経済や農業政策を学びました。フィールドワークも充実していて、現役で活躍する農業者と対話をする機会が

複数回ありました。農村で聞く生の声からは、暮らしと農業の繋がりを実感しました。鹿大での学びによって、農業に関する広い視野を身に付けることができたのではないかと思います。

後輩に対してメッセージをどうぞ！

あなたは何か好きですか？ 食べること、ものづくり、お花や昆虫、農村で過ごす家族。農学を学ぶことで、あなたの「好き」をより深めることができるかもしれません。温暖な気候と広いキャンパスを持つ鹿児島大学でしか学ぶことができない「農学」がここにあります。応援しています。



大学生生活は自分次第!無限の可能性への第一歩を応援しています!

今、どのような事をされていますか？

鹿児島の伝統的な本格焼酎を中心に製造・販売する会社で、主に焼酎についての研究や酒質開発を行っています。焼酎はやはりまだ若者や女性には親しみにくいイメージがあるため、同じ立場である利点を活かし、そういった人達が魅力的に感じる焼酎を開発していきたいと思っています。

鹿児島大学を選んだよかったと思うことは？

鹿児島大学には全国でも珍しい焼酎について学べる研究室があり、私はそこで焼酎酵母の研究をしていました。そこでの学びが今の仕事にとっても役立っており、現在は

酵母の管理も任されています。また、フィールドワークが充実しており、実習でお世話になったことがきっかけで今の会社に興味を持ちました。

後輩に対してメッセージをどうぞ！

大学は勉強以外に人間として成長できる場であり、そこでの出会いや経験は今後の人生にとっても大きな影響を与えます。ただ、自ら行動しないと何も得られないので、一歩を踏み出す「勇気」をぜひ大事にしてほしいです！街中にあり周りの自然も豊かな鹿児島大学は、とても恵まれた環境だと思います。



卒業生の声

(株)伊万里木材市場
(大分営業所)
森林整備部
堤 美記
農学部農林環境科学科
令和3年度卒業
福岡県立
八女高等学校出身

～自分で考えて挑戦できる場所～どう過ごすかはあなた次第!!

今、どのような事をされていますか？

木材市場で山林の購入、伐採の現場管理、伐採後の測量・植林・下刈り等の現場管理を行っています。山から木を集めるだけでは将来的に森林がなくなってしまうため、木を伐った後に苗の植え付けをし、40年～60年後にまた木が伐れるよう、最善を尽くしていきたいです。

鹿児島大学を選んだよかったと思うことは？

県内外の山林を見て回ったり、高隈演習林で様々な実習をしたりと、座学だけでなくフィールドワークが多いので「山が好き」、
“自然が好き”と言うワクワクがずっと続

く素敵な環境でした。現在の仕事内容は大学で学んだこと的应用編であり、調査や営業で役に立っています。

後輩に対してメッセージをどうぞ！

大学の経験は社会に出た時に必ず活かされます。講義でも遊びでも興味が出てきたら、ぜひチャレンジしてみてください。色んなことに取り組む時間があるのが大学生の醍醐味です！先生方に相談すれば、いろいろな提案してくれますので、やりたい事がない人も何かは見つかるはずです。



取得可能な資格(p8参照)

◎高等学校教諭一種免許状(農業)

◎食品衛生管理者(任用資格※) ◎食品衛生監視員(任用資格※)
卒業要件に含まれる科目のほか、関連科目の履修が必要である。食品生命科学プログラムは養成施設であるため、卒業時に任用資格となる。

その他のプログラムについては、指定される科目を修得し、卒業後に申請する必要がある。
※卒業後、食品衛生に関連する職種についた場合に取得できます。

◎自然再生士補

認定科目を修得した者の申請に基づき、財団法人日本緑化センターが認定する。卒業要件に含まれる科目で取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

◎樹木医補

認定科目を修得した者の申請に基づき、財団法人日本緑化センターが認定する。卒業要件に含まれる科目で取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

◎森林情報士2級

認定科目を修得した者の申請に基づき、一般社団法人日本森林技術協会が認定する。卒業要件に含まれる科目で取得可能であるが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

卒業後の進路

公務員

◎農林水産省 ◎気象庁 ◎九州財務局 ◎九州農政局
◎県庁 ◎市役所 ◎教職

農業関係

◎農業関係機関・団体 ◎農業機械・施設関連企業

林業関係

◎林業関連機関・団体 ◎森林・木材関連企業

建築・土木関係

◎建設関連企業

大学院進学

食品関連産業

化学関連産業

金融業

商 社

発酵・醸造関連産業



卒業プロジェクト:ケース②

漁業者コミュニティの生活基盤向上を目指して…

持続的な水産資源の有効活用を軸とし、漁業者コミュニティの生活基盤の向上を目指したプロジェクトを進めてきました。セントルシア、マレーシア、フィリピンを主な活動地域として水産資源の利活用状況の分析や簡易的な資源量のモニタリング方法の検討と提案、付加価値を高めた水産資源の利用法の提案、漁業規則と漁業者の遵法意識の分析など地域の漁業者が抱えている問題の分析や解決に向けた活動をプロジェクト担当学生と地域の漁業関係者との協働で進めてきました。これらの活動で得られたことは、国内での提案や活用が期待されます。



フィリピンにおける漁業者からの聞き取り調査



さっっん



FACULTY OF AGRICULTURE KAGOSHIMA UNIVERSITY

2025年7月発行